

平成30年度第6回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成30年7月13日（金） 15：02～18：21
- 2 場 所 1号館14階大会議室
- 3 出席者 <教育委員会>
長田教育長 梶木委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
川田教育次長 後藤教育次長 浜本総務部長 大谷学校教育部長
荒牧教育施策推進担当部長 住谷教職員人事担当部長
- 4 欠席者 山本委員
- 5 傍聴者 3名
- 6 次第
- | | |
|---------|-----------------------------|
| 教第17号議案 | 組織風土改革のための有識者会議の件 |
| 教第18号議案 | 平成31年度使用神戸市立高等学校の教科用図書採択の件 |
| 教第19号議案 | 教職員の人事に関する件 |
| 教第20号議案 | 学校園管理職昇任選考試験に関する件 |
| 報告事項1 | 小中義務教育学校 春季運動会体育大会 組体操について |
| 報告事項2 | 市会文教こども委員会の報告について |
| 報告事項3 | 神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について |
| 報告事項4 | 三宮図書館と西図書館の再整備に係る検討会の開催について |
| 報告事項5 | 副駅名の命名権の取得について |
- （その他報告） 主要行事の報告と予定

7 会議内容

（長田教育長）

それでは、ただいまから教育委員会会議を始めさせていただきます。

きょうは、山本委員が所用のため欠席です。

初めに、写真撮影の許可についてお諮りをさせていただきます。

本日の教育委員会会議の様子を神戸新聞社さんから写真撮影の申し出が、そして、毎日放送さんからビデオ撮影の申し出がありますので、許可したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（5名の賛成により許可を決定）

（長田教育長）

ありがとうございます。

それでは、許可することといたします。

本日は、当初の案内から少し変更になり、議案が4件、報告事項が5件です。

このうち、教第17号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じる恐れがある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるもの。また、教第19号議案、教第20号議案については同項第2号により、職員の人事に関することということで、非公開とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。御異議ございませんか。

(5名の賛成により非公開案件を決定)

(長田教育長)

それでは、以上申し上げたように、教第17号議案、教第19号議案、教第20号議案については非公開とさせていただきます。

それではまず、教第18号議案、平成31年度使用神戸市立高等学校の教科用図書の採択の件について説明をお願いします。

教第18号議案 平成31年度使用神戸市立高等学校の教科用図書の採択の件

(山根学校教育課首席指導主事)

第18号議案が表紙となっているものと、赤いインデックスの申請書の別冊、それから青いインデックスがついた参考資料、計3種類が資料となります。

お手元の資料に基づいて高校の教科用図書採択の流れ等について御説明します。

1 ページをごらんください。これは既に4月16日の教育委員会会議で御承認いただいた、平成31年度使用教科用図書の採択要領です。そこには基本方針、採択の手続、採択事務に関する情報公開、教科書の展示とありますが、採択の手続の(3)高等学校及び特別支援学校高等部について、1行目にある、毎年自校の教育課程に則した教科書を選定し、教育委員会に申請するという、この部分を受けて、本日御審議をいただくということになっています。

3 ページ、資料2をごらんください。採択の流れを図に示しています。①については、4月16日の教育委員会会議にて採択要領の決定をいただきました。そのあと、②採択要領を各学校に通知しました。これを受けて各学校で選定作業を行いました。中央の枠内にあるように、各学校は校長を委員長とし、各教科の教員や保護者の代表で構成する教科用図書選定委員会を設置し、教育課程等に則した教科書の調査研究の選定作業を行い、申請資料を作成しました。現在はこの③の申請を受け、本教育委員会会議での採択決定の段階④となっています。

4 ページ、資料3をごらんください。採択の日程を記載しています。本日の教育委員会

会議での承認のあと、各学校において購入する教科用図書冊数、いわゆる需要数を教育委員会事務局に報告する準備に取りかかります。

5 ページ、資料4をごらんください。教科用図書の展示会の状況です。教科用図書の展示は、6月15日から14日間実施しました。最終的に168名の方が閲覧されました。②は過年度の閲覧者数です。高等学校の教科用図書については毎年採択を行いますが、26年度は小学校教科用図書の採択の年、27年度は中学校の教科用図書の年で、今年度は中学校の道徳科の採択の年となっております、閲覧者数がふえています。

次に、赤いインデックスの別冊、平成31年度使用神戸市立高等学校教科用図書に関する申請書をごらんください。これは六甲アイランド高校から楠高校まで全8校から提出された申請書です。内容項目について六甲アイランド高校を例に説明します。

1 ページをごらんください。六甲アイランド高校では、1 ページの国語から10ページの福祉までの教科用図書を選定しています。県への報告書と同様に、表の右端、選定・変更理由が空欄のものについては、昨年度採択したのと同じ教科用図書を平成31年度の生徒にも使用します。また、選定・変更理由欄に記述があるものについては、学校が教科用図書を新たに選定・変更したものと、今回新しく検定を受けた教科用図書です。

以下、同様に各校から提出された教科用図書の一覧が続いています。

では、各校から1点ずつ代表的なものを取り上げて説明させていただきます。

まず、六甲アイランド高校が選定した教科用図書について、赤いインデックスのついた別冊の申請書5ページをお開きください。5ページのナンバー62番、数学Ⅲの欄をごらんください。右端の変更理由の欄に変更理由が書かれています。そして、青いインデックスのついた参考資料を置かせていただいていますので、合わせてごらんください。

それでは、担当主事よりそれぞれ具体的な内容について説明させていただきます。

(金生学校教育課指導主事)

数学Ⅲは8種類から選定しています。数学Ⅲはこのたび改訂され、文部科学省の検定を受けました。文部科学省の指定事業であるスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けている六甲アイランド高校の3年次理系選択者が学習します。

お手元の参考資料をごらんください。青のインデックス数学Ⅲ①をごらんください。左側の各章の扉のページでは、双曲線があらわれるポートタワーの写真が掲載されています。ほかの章においても、日常生活にあらわれる数学やその分野で大きく貢献した数学者の紹介をしています。その単元を学ぶ際に生徒が興味・関心を持ちやすいよう工夫がなされています。また、右側のページでは、放物線、焦点、準線、標準形など新しい概念について基礎から掲示され、単元の導入において理解しやすいよう工夫がなされています。

次の青いインデックス数学Ⅲ②をごらんください。媒介変数表示について学ぶ単元では、研究のページにおいて3つの曲線の例を挙げて紹介しています。アステロイド、カージオイド——心臓形、円の媒介変数表示は高度な内容ではありますが興味を引く内容であり、

生徒に数学の広がりや可能性を感じさせる内容となっています。

次の青のインデックス数学Ⅲ③をごらんください。左側のページの下側、定積分と不等式では、解説、右側に定理を紹介した後に例題11、その下練習31があり、次をめくっていただくと、次のページで応用例題7、その下練習32、最後に章末問題と、段階的に無理なくレベルアップできるような問題が配置され、学習しやすいよう工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科書を選定しています。

(山根学校教育課首席指導主事)

次に、申請書の12ページをごらんください。ここは葺合高校の申請のページになります。39番世界史Aをごらんください。葺合高校は文部科学省のスーパーグローバルハイスクールの指定を受けている高校であることから、アクティブラーニングを実施する際に適した教科書であり、発表や話し合いを中心とした授業を意識して選定しています。それでは、主事のほうから説明します。

(金生学校教育課指導主事)

世界史Aは9種類から選定しています。先ほどの青いインデックスの冊子です。3年生の理系の生徒全員とこの授業を選択した文系の生徒が学習します。

お手持ちの参考資料、青のインデックス世界史A①をごらんください。現在のドイツの都市、ネルトリンゲンの航空写真を大きく掲載しています。「ヨーロッパのまちとくにの発達」では、11世紀から12世紀、城壁に囲まれた集落で職人や商人が多くあられたことを理解しやすいよう工夫がなされています。また、右側ページ欄外では、フランスを救った少女、ジャンヌダルクを取り上げるなど、重要な人物、出来事について多くのコラムで紹介し、理解しやすいよう工夫がなされています。

次のページ、インデックス世界史A②をごらんください。18世紀ごろに生まれた自由と平等という思想が実現するまでの各国の革命運動、また、外国の勢力の打倒を目指す独立運動についてまとめてあります。時代や地域による運動の違いを図や写真を大きく掲載して、理解しやすいよう工夫がなされています。

インデックス世界史A③をごらんください。右側のページです。「現代世界の特徴や課題について調査し意見を述べよう！」では、世界の人々が協調し、共存できる「持続可能な社会」を実現するために、どのような取り組みが必要になるかについて自分の意見をまとめ、発表、討論、意見交換をする手法がまとめられます。主体的、対話的で深い学びを实践できるような工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科書を選定しています。

(山根学校教育課首席指導主事)

次に、申請書17ページをごらんください。このページは科学技術高校の申請です。50番

土木施工をごらんください。土木施工の基本である土工コンクリート工、基礎工、舗装工の記述が充実しています。その他の技術については6章にまとめて指導しやすく工夫されている教科用図書として申請が挙がっています。

(竹内学校教育課指導主事)

工業高校の教科書は冊数自体が少なく、今回申請変更等はありませんが、特徴のある土木施工を選んで説明します。

土木施工は、本教科書を1冊のみからの選定となっています。この科目は、都市工学科土木選択の2年生、3年生が使用します。青のインデックス①をごらんください。この教科書は、土木構造物を計画どおり安全につくるため、材料の特質を生かしたさまざまな工事を行う施工技術と、法規、機械、電気などの基礎的な知識、またそれらを環境に配慮して総合的に捉え、学べるよう構成されています。また、視聴覚教材のDVD等が付属しており、具体的な建設現場の映像などを用いて授業展開することで、イメージしながら技術を理解できるよう工夫されています。合わせて、国家資格である土木施工管理技士などの資格取得にも配慮された内容となっており、土木技術者としての基礎的、基本的な技術を学ぶことができる内容となっています。

続きまして、青のインデックス、土木施工の②です。第3章、コンクリート工の第1節、コンクリート用材料においては、土木材料の中心となるコンクリートについて、専門用語の解説や注釈も詳細に記載されており、実験実習と結びつけながら学ぶことができる内容となっています。

青のインデックス②の2枚目にある図3の9のような、実際に実習において取り組む材料実験のイラストも掲載されており、イメージしやすい図表により、興味・関心を喚起するよう工夫されています。

土木施工インデックス③をごらんください。第7章、工事の仕組みと管理の第5節、安全衛生管理の単元では、建設業における労働災害について図7の20のようにグラフを用いて取り上げて、安全管理の重要性をイメージしやすいように工夫されています。また、インデックス③の2枚目、240ページをごらんください。建設現場における安全管理につながる取り組みをイラストで表現し、将来建設現場で働く生徒が具体的な現場のイメージを持つことができるよう工夫されています。

以上のような観点から、この教科書が選定されています。

(山根学校教育課首席指導主事)

次に、申請書22ページをごらんください。このページは神港橋高校の申請です。25番電子商取引をごらんください。電子商取引の授業に重要な実技実習について簡単なものから高度なものまで内容がたくさん記載されており、生徒にとって実践的な体験ができるように工夫されている教科用図書として選定されています。

(金生学校教育課指導主事)

電子商取引は2種類から選定しています。青のインデックス電子商取引①をごらんください。実店舗と電子商取引の違いについて、理解しやすいグラフや表にまとめて説明しています。需要が少ない商品販売を行うニッチ戦略は、ロングテールという多品種少量販売に徹することで利益を上げることができることを解説し、生徒の理解が深まるよう工夫がなされています。

インデックス電子商取引②をごらんください。電子商取引のシステム構築では、実際のホームページの作成について学びます。ページ欄外にポイントを多く示し、その留意点について解説しており、編集の手法について学びやすいよう工夫がなされています。

電子商取引③をごらんください。電子商取引で必要不可欠なホームページの作成において、必要なスキルとなる静止画、動画の取り込みについて学習します。静止画の編集においては、解像度、トリミング、画像の補正、次のページでは画像の効果、さらにめくっていただいて次のページでは、画像の合成などの編集において、生徒は実技を通して学べるようになっています。多くの単元で生徒が体験に基づき手法を学ぶことができるよう、工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科書を選定しています。

(山根学校教育課首席指導主事)

次に、申請書23ページをごらんください。このページは須磨翔風高校の申請です。1番国語総合をごらんください。国語の能力の基礎を確実に身につけるために、現代社会を反映した価値の高い内容から、基本的な内容の教材まで幅広く展開されています。また、言語活動の充実に資する例を取り上げながら、表現技法についても主体的に学ぶ機会が設けられています。生徒の多様な進路に即している教科用図書として選定されています。

(福岡学校教育課指導主事)

国語総合は1学年の共通必修科目で、23種類から選定しています。青インデックスの国語総合①の目次をごらんください。小説は芥川龍之介、志賀直哉、太宰治。評論は安部公房、内田樹。詩は三好達治、中原中也。短歌・俳句は正岡子規、与謝野晶子、高浜虚子、種田山頭火等、精選された代表的な作品を幅広く納めているのと同様に、村上春樹、福岡伸一等の新しい視点を持った作品も収録されており、生徒の興味・関心を広げる内容となっています。また、3ページディベート、5ページ発表するなどの表現に対する活動を具体的に記述しており、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの各領域をバランスよく配置していると言えます。

青のインデックス国語総合②をごらんください。9ページ、10ページで日本の庭園と西洋の風水の写真を掲載し、水を観賞する行為を通して、日本人と西洋人の感性の違いを説

明する本文を明確にイメージできるようになっていることから、図版が適切に配置されていると言えます。

青のインデックス国語総合③をごらんください。表現では、意見文の書き方について準備、執筆、推敲する方法を具体的に記述しており、生徒が主体的に取り組めるような工夫がなされています。また、でき上がった意見文をクラス発表の活動に発展させて、評価に結びつける工夫がなされています。

以上のような観点から、この教科書を選定しています。

(山根学校教育課首席指導主事)

次に、申請書29ページをごらんください。このページは神戸工科高校の申請です。7番工業技術基礎をごらんください。工業の技術者倫理、知的財産権など、工業全般にかかわる基礎的な内容を扱った導入、工業の各分野の基礎的な加工技術についての技術を体験的に学ばせる基本作業編、基本作業編の技術を総合的に応用して題材を製作し、生産の流れを体験的に学べる製作編の3つの編に分けた構成で、より工業に関心を向けさせる内容の教科用図書として選定されています。

(竹内学校教育課指導主事)

工業技術基礎は、本教科書1冊からの選定ですが、工業高校の全生徒が使用する教科書となっており、今回特に取り上げて説明します。

青のインデックス工業技術基礎①をごらんください。工業技術基礎は工業高校における必修科目であり、一般的に工業科1年生を対象に開講される科目です。目次にあるように、工業の専門分野の学習に先立ち、各分野に共通して必要とされる基礎的な工具や材料に関する知識や技術を幅広く学習することができます。また、次のページをめくっていただいたら、7ページ図3のイラストのように、実習に取り組む態度や技術者としての心構え、ものづくりの流れ、留意点について具体的にイメージしながら、実験実習を通して体験的に学ぶことができるよう構成されています。

青のインデックス工業技術基礎②をごらんください。事故防止と安全作業の心構えでは、工業実習において最も重要である安全作業についてイラストを用いて解説してあります。図3、図4があります。図4、図5のように、工業実習に初めて取り組む1年生にもわかりやすく工業実習の留意点を示し、イメージしやすい工夫がなされています。

青のインデックス工業技術基礎③をごらんください。実際に工作機械を使用して、材料を加工するなどの実習に取り組みます。参考作品例のメモフォルダーの制作のように、生徒が理解しやすいように工作機械の基本的な仕組みや動き、実習作業の注意点等が写真や図を用いてわかりやすくまとめられており、実習に入る前に作業手順や操作がイメージしやすい構成となっています。

以上のような観点から、この教科書が選定されています。

(山根学校教育課首席指導主事)

次に、申請書34ページをごらんください。このページは摩耶兵庫高校の申請です。20番社会と情報をごらんください。生徒にとって身近なテーマで理解しやすい内容であり、また練習問題が豊富に掲載されていることから、理解を深めるのに適しています。また、イラストも多く掲載されており、生徒がイメージしやすいものとなっている教科用図書として選定されています。

(竹内学校教育課指導主事)

社会と情報は3種類から選定しています。この科目は、平成15年度に新設された普通教科情報の情報Aが、平成25年度入学生より社会と情報と名称変更された科目です。摩耶兵庫高校では、2年生全員の必修科目となっています。

青のインデックス社会と情報①をごらんください。この教科書では、コンピューター等の情報技術だけでなく、生活にかかわるSNSやプライバシーの具体的事例を挙げ、生徒の興味・関心を引きつける構成となっています。特に、生徒に身近なスマートフォンの利用上の注意点や、サイバー犯罪などを取り上げており、理解しやすい工夫がなされています。また、学習内容が日常生活のさまざまな場面で活用されていることを理解でき、身につけた知識・技術が日常生活につながっていることを認識できる内容となっています。

青のインデックス社会と情報②をごらんください。情報機器とデジタルの学習においては、図1、図2、図3のように写真や図を用いて機器をイメージさせるとともに、理解しにくいコンピューターの制御装置については、例題1の回答例のように図を用いてわかりやすく表現し、理解が深まるよう工夫されています。また、重要な用語について太文字で表記され、英単語の表記や注釈も付記されており、わかりやすい表現となっています。

青のインデックス社会と情報③をごらんください。実習を伴う表計算ソフトの学習では、データの入力や関数の利用について具体的な例題を用いて、知識・技術が身につけられるように構成されています。例題1のようにパソコンの画面を示し、わかりやすく表現されていたり、次のページの例題3、例題4のように、絶対参照と相対参照を比較しながら学習できるよう、具体的な操作方法や入力方法がわかりやすく示してあります。また、例題2は、生徒が発展的に考えながら取り組むことのできる解説や考察も示してあり、学習内容を深めることができるようになっています。

以上のような観点から、この教科書が選定されています。

(山根学校教育課首席指導主事)

最後に、申請書38ページをごらんください。このページは楠高校の申請です。16番現代文Aをごらんください。親しみやすい随想から、しっかりした評論文まで同じテーマでも異なった視点や難易度で書かれた文書が幅広く豊富に収録されている教科用図書として選

定されています。

(福岡学校教育課指導主事)

現代文Aは5種類から選定されており、3年生、4年生全員が2年間かけて読むことを中心に学習します。

青のインデックス現代文①のこの教科書で見につく国語の力をごらんください。単元のねらいと学習内容を明確に示すことにより、複数学年で継続して使用しながら、社会人として必要な国語の基礎力である読むこと、話すこと、書くことが定着できるような配慮がなされています。

青のインデックス現代文②をごらんください。タブレット端末による会議、自立支援用装着ロボット、感情認識ヒューマロイドロボット、また、地元神戸の理化学研究所計算科学研究機構に設置されている次世代スーパーコンピューター京の写真を掲載することで、科学技術に支えられた世の中に生きることの重要性を述べる文章の内容を想起させたり、イメージを広げたりすることのできる図版等が、必要に応じ適切に配置されていると言えます。

青のインデックス現代文③をごらんください。80ページ、単元末の学習のポイントでは、段落ごとに文章の要旨を説明することや、字数を制限して筆者の主張をまとめることなど、鑑賞をさらに深める工夫がなされており、81ページでは常用漢字について本文とは異なる使い方を幅広く学習できるような漢字のレベルアップも図れるようになっています。

以上のような観点から、この教科書を選定しています。

(山根学校教育課首席指導主事)

以上、各校より申請のあった教科用図書を取り上げて説明しました。平成31年度使用神戸市立高等学校の教科用図書について説明を終わります。

(長田教育長)

今の高等学校の教科用図書の採択の件について、御質問、御意見がありましたらお願いします。

(福田委員)

提出されている各学校からの申請書には、全てではありませんが、選定理由とかいろいろなコメントが書いてありますね。新しく採択された教科書については、選定理由の記述があるけれども、記述がない図書についても当然検討はされていて、過去に採択されているからここには記述していないということですが、それが質問の本質ですけれども、やっぱりこういう場合、すべてについて議論をしているはずですから、どういうポイントがあるのか、どういう特徴があるのかというのを教科書全てについて、一言でいいから明確に

したほうが良いと思います。教科書は継承していくので、ぜひ申請書を提出していただくときには、そういった内容も含めて書類を作成してくださいとしたほうが良いと私は思うのですが、いかがですか。

(山根学校教育課首席指導主事)

その教科書を初めて採択したときには必ずその選定理由が載っています。次年度も使うときにはそこは空欄になるのですが、そうすることによってどれが選定されたかというのがよりわかりやすくするというところもあるのですけれども、委員がおっしゃるように、継続のものに関しても入れるということも考えていかなければいけないのかもしれないので、検討させていただきます。

(福田委員)

新しいコメントの必要はありませんので。

(山根学校教育課首席指導主事)

そのときにどういうふうを選定されたかということですね。

(福田委員)

それが大事だと思います。

(山根学校教育課首席指導主事)

わかりました。それはまた検討させていただきます。

(長田教育長)

ほか、ございませんか。

(今井委員)

先ほど幾つか御紹介いただいた中で、土木関係とかであれば1種類しかないという教科書があるということですが、1種類からしか選ぶ余地がないというのは、きょう御紹介いただいた以外にもかなりあるのですか。

(山根学校教育課首席指導主事)

工業系、もしくは商業系の場合は、工業の中でも珍しい科目に関してはなかなか需要数が少ないので、何十種類もということはやはり難しいです。現実には1種類、2種類ということで、それを購入する生徒の数が非常に限られていますので、現実には1種類しかないようなものもほかにはあります。

(今井委員)

そうすると、その学校で目指すレベルというのと、教科書の内容とで、ちょっと乖離するような場面というのもやっぱり出てくるのですか。

(山根学校教育課首席指導主事)

乖離するということは余りないと思うのですが、もしそれ以上の高いレベルを望む場合は、授業の中で投げ込み教材的な形でいろいろ工夫はされていると思います。

(梶木委員)

今の1社しかない、例えば土木施工の教科書を見ると、ほかの教科書がカラフルであるからこそ、2色刷りであるところがすごく目立つのですけれども、DVDか何かがついているとおっしゃっていましたよね。

(山根学校教育課首席指導主事)

はい。DVDがついています。

(梶木委員)

それを見れば大分わかりやすいですか。

(山根学校教育課首席指導主事)

そうですね。教室でいろいろとDVDを見ることができるよう設備がありますので、そういうところを見せて、その教科書の一色、二色であるところをカバーしているというところはあります。

(梶木委員)

写真などを見ながら施工を学ぶのであれば、それこそカラーでわかりやすくしてもらえたほうがいいのにと個人的には思います。でも、選びようがなければ仕方がないのかなとも思います。

(山根学校教育課首席指導主事)

梶木委員がおっしゃるように、本当にそれはカラフルにさせていただいたら、我々も非常にありがたいと思いますが、そもそも売れる数が決まっていますので、商業ベース的に見ればなかなか難しいのかもしれない。

(梶木委員)

教科書って商業ベースなのですか。

(長田教育長)

教科書以外での利用もある場合があるけれども、これはほとんどないという、そういう意味ですね。

(山根学校教育課首席指導主事)

教科書は基本的にはほとんど教科書としてしか使われなと思います。中にはもしかしたらその教科書に非常に興味があって、購入を希望される方もいるかもしれませんが。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

(梶木委員)

毎年聞いていますけれども、大体1年生とかで教科書の負担額というのはお幾らぐらいですか。結構学校によって教科書の量とかが違ったりすると思いますけれども。

(山根学校教育課首席指導主事)

例えば、六甲アイランド高校でしたら最高額が1年生で9,310円。最低額が8,730円です。工業は少し高くなりますけれども、科学技術高校の一番高いところで機械工学科の最高額が1万5,015円。最低額が1万4,440円となっています。

(梶木委員)

保護者にとっては、結構な負担ですね。

(長田教育長)

この選定方針は各学校で決めていますけれども、これは毎年毎年その委員会の中で、ここの選定方針はどうしようかということで、当然協議はされているのですか。

(山根学校教育課首席指導主事)

はい、協議をしています。選定委員会のほうでそのあたりはしっかりと選定委員長のほうからこういう方針でということは毎年行っています。

(長田教育長)

その時代に応じて、状況に応じて少し変わってきたりしていますか。それともずっと同じということはありませんか。

(山根学校教育課首席指導主事)

基本方針は、適正かつ公正に採択するということがもちろんありますけれども、時代に
応じて、その時代その時代の問題点等は議論されていると思います。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

それではこの教第18号議案、承認とさせていただきますよろしいでしょうか。

(5名の賛成により可決)

(長田教育長)

ありがとうございます。では、承認とさせていただきます。

(山根学校教育課首席指導主事)

ありがとうございました。

(長田教育長)

それでは続いて、報告事項4、三宮図書館と西図書館の再整備に係る検討会の開催につ
いて、こちらは事前に資料をお目通しいただいていると思いますけれども、この三宮、西
両図書館についての基本方針やコンセプトなどをまとめた基本計画を策定するに当たって、
検討会を開催するという報告内容となっています。

この件について御質問等ございませんでしょうか。

報告事項4 三宮図書館と西図書館の再整備に係る検討会の開催について

(今井委員)

有識者等として5人の方の名前が挙がっておられますが、どういう経緯で選ばれたので
しょうか。

(鎌田中央図書館企画情報担当課長)

なるべく多方面の方から御意見をいただきたいと考え、ボランティアの方は実際に利用
者であり、その図書館でボランティアをされていらっしゃる方、図書館学の方や建築学の方、
それから人づくりまちづくりの方、そして多文化の方というように、それぞれの分野
の方にも当たっていき、快くお引き受けいただいた方になっていただいているということ
です。

(長田教育長)

どちらかと言うと、大もとの基本方針とかコンセプトといった、大きいところをまず専門家の方、有識者の方に、意見をお聞きしようというのが趣旨であると、そう理解しているのですね。

(鎌田中央図書館企画情報担当課長)

はい、そうです。

(長田教育長)

いわゆる利用されるような市民の方々に対する意見募集というのは、また別途行うのですか。

(鎌田中央図書館企画情報担当課長)

既にネットアンケートであるとか、来館者に対する利用者アンケート等とはとっていますけれども、この検討会のまとめがあらわれたところに、もう一度地域の方々には機会を設けて御意見を伺いたいと思っています。

(今井委員)

図書館関係については、これまでの市民の声や、それ以外にも直接というのものもあるでしょうけれども、本当にいろいろなお声——苦情的なものから、もっとこうしたいほうがいいという本当に前向きな御提案を含めて、すごくいろいろな形で声が寄せられていると思うので、できるだけ集約していただいて、こういう会議があるのであればそこでもしっかりそういう声があることをお届けした上で、また御意見を集約していただければと思います。

(鎌田中央図書館企画情報担当課長)

今現在集めていますネットアンケートであるとか利用者アンケートのほうは、ホームページのほうにもこれから掲載させていただく予定でいます。

(長田教育長)

ぜひ、特にこの三宮と西では大分その図書館を利用される方のカラーというか、利用者層が違うと思いますので、そういう意味では最初のこのコンセプトという、基本的なことが大事なところだろうと思います。

(梶木委員)

あと、やっぱりトータルとして神戸市の図書館全部の連携とかネットワークとか、中央図書館の役割分担であったりというところで、全体もきちっと見ていただいた上での三宮と西という関係でやっていただけたらなと思います。

(鎌田中央図書館企画情報担当課長)

特に、三宮は玄関口になりますし、西図書館は西のほうの拠点と考えていますので、またバランス等を考えていきたいと思います。

(長田教育長)

ほか、よろしいですか。

とにかく、市民の方々の御要望が非常に強い分野だと思しますので、十分慎重にお願いしたいと思います。

(梶木委員)

また、経過報告をお願いします。

(長田教育長)

では、また適宜御報告をよろしくをお願いします。

(鎌田中央図書館企画情報担当課長)

ありがとうございました。

(長田教育長)

それでは、次の報告事項1、神戸市立小中義務教育学校の春季運動会・体育大会の組体操について、こちらも事前に資料を見ていただいていると思いますが、春季の運動会・体育大会で実施した組体操についての報告です。

御質問、御意見よろしくをお願いします。

報告事項1 神戸市立小中義務教育学校 春季運動会体育大会 組体操について

(伊東委員)

去年、利き手のけがをされて、修学旅行に重なってしまった方もおられましたけれども、児童で全治が長いけがの人とかでお困りになっている方がまずいらっしやらないかどうか。そもそも私は結構反対の意見を持っていたのですが、今回、私ごとで次男の運動会を見に行ったときに、イメージしている組体操とは少し異なる、ダンス的な要素とか芸術的な要

素が組み込まれていて、今回の資料のけがの報告を見る前は、こういう流れで学校も工夫されるようになったのかなと、泣いている保護者の方もおられるぐらいの演技をしていたので、次のステージに行ったのかなという感想を持っていました。

実際、ちょっと長期に及ぶけがに残念ながら巻き込まれたというか、あってしまった児童、そのあたりはやはり従来の考えも若干入っているのかなと思いますので、さらに気をつけていただきたいです。一番初めの話のところで、日常の学校生活に支障を来していないのかというところが少し気になったので、今回はコメントをしっかりと書いていただいているので大まかなことはわかるのですが、もしそのあたりがわかればお願いします。

(浅野スポーツ体育課首席指導主事)

骨折事案で、足の指を骨折するという事案が大変多くありました。けがの状況を見ていただいてもおわかりかと思いますが、倒立して戻すときに、足の裏から着地できずに足の指からおりて骨折する。あるいは、補助倒立を受け損ねて、そして倒れて骨折されるというようなことが骨折事案の中でも一番多くあります。ただ、足の指なので、全治1週間という診断書をいただいているというようなことも聞いています。

一方で3ページにある、クラウンという5人技等で、上に上がる児童が後ろに落下して手をついて両手首を骨折したというような事案が全治4週間ということで、ここは学校のほうで最大にバックアップしながら学校生活を送っていると聞いています。

(伊東委員)

市民の声とかでも、ことしの組体操はこういう御時世なのに強固に進めるんだというような御意見も多数いただいている中、こういうけがが防ごうとしても出ていて、学校現場のところで保護者様からこのけがに対して厳しいお言葉をいただいたというケースもあるのでしょうか。

(浅野スポーツ体育課首席指導主事)

けがをしたからどうこうではなく、やはり組体操自体の必要性の異議を唱える方もいらっしゃいますし、反対に組体操をしてくれというような意見も一方ではあり、今は組体操に対してどんどん議論が進んでいるかということ、今はちょっと落ちついているのではないかなと感じています。

私たちが多くの学校を見に行きましたけれども、総じて難度がかなり低くなったなという感想はもっています。ですので、今までみたいに難度の高い技をいかに入れていくのではなく、難度はそんなに高くないけれども自分の体を支えたり相手の体を支えたり、そういうことを体感させたいという、そういうところに主眼が置かれているような感想ももっています。

(長田教育長)

ほか、ございますか。

(今井委員)

骨折が19件中11件ということで、骨折以外の8件というのはどういう事故ですか。

(浅野スポーツ体育課首席指導主事)

すり傷から捻挫など、いろいろです。特に多いのが打ち身です。

(梶木委員)

多分、組体操で一番危険だと言われたのが転落とかということだと思いますけれども、そういう大きな事故は——骨折も大きな事故だと思いますけれども、頭を打つとかそういう事故はなかったですか。

(浅野スポーツ体育課首席指導主事)

今回、頭部の事故はありません。

(梶木委員)

私も運動会を見に行き、伊東先生と同じ感想をもったのですけれども、すごく今おっしゃられたように難易度が下がっていて、体幹を鍛えるところの運動から、組体操の中で結構いろいろな運動が入っていたなと思ったのと、もう一つは、先生たちが本当にあちこちですぐに支えられる態勢に入っておられるというのが印象的で、非常にその辺も学校で訓練とか練習とか研修とかをされたのだなというのを感じました。大きな技がない分、小さな技のところでもけがをさせないというような、先生方の動きがきびきびと見れたのがすごくよかったかなとは思っています。

ただ、とは言え、やっぱり事故が起こってしまっているのでも、引き続き実施の有無に関しても議論を高めていただくことと、研修を積み重ねていただくことと、まずは子供たちの日常の体力を上げることに力を注いでいただけたらと思います。

(伊東委員)

基本的には余り賛成派ではないのですが、こういうトラブルが起きているので、そういうときこそやはり校長会でしっかりと起こった原因、また研究会のところで引き継ぎをして、秋の運動会で仮に組体操を実施する場合は、残念ながら痛い思いをした児童の皆さんのけがと同じようなことが出ないようにしていただければと思います。

逆に、中学校のほうが組体操をやっている学校数が減っているのでも、またその違う種目というのも次の機会に教えていただければと思うのと、ぜひ小学校の校長先生にもそう

いうのを見ていただければと思います。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

いろいろと御意見のあるところだと思います。そういう意味できょういただいた御意見を十分踏まえていただいて、そしてやはり事故が起こった原因分析、再発防止策ということは当然考えていただいていると思いますけれども必要なことだと思います。

また一方で、非常に必要性を強くおっしゃる御意見も片一方ではあると聞いています。そのあたり、本当に子供さんにとって、本当にそういう意味で役立っているのかどうかということも十分お話をよく聞いていただいた上で、逆にそういう意見についても発信をしていただくというような努力も必要ではないかなと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

次に報告事項3、神戸市スポーツ特別賞被表彰者決定についてです。

こちらは2018 F I F Aワールドカップロシア大会で、多大なる御活躍をされた日本代表選手のうち、神戸にゆかりのある3選手——香川選手、岡崎選手、昌子選手を、神戸市スポーツ特別賞の被表彰者として、これはもう決定して発表をしたという報告です。

御質問等ございましたらお願いします。

報告事項3 神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について

(長田教育長)

表彰日時は調整中とありますが、どんな状況ですか。

(上田スポーツ体育課長)

どうしても今は海外におられますので、調整はまだちょっと難航しています。

(長田教育長)

なかなか難しいですか。

(伊東委員)

もし今回表彰される方が本当に戻ってこられて、神戸で表彰を市長から受けていただくようなところがあれば、小学生か誰か、特にサッカーをやっている子にインタビューをで

きるような機会を設けていただけたらと思います。

よく学校にヴィッセル神戸の選手の方は来ていただけるのですけれども、より世界のトップなので、なかなか難しいメンバーだとは思いますが、機会があればお願いします。

(上田スポーツ体育課長)

はい。わかりました。

(長田教育長)

ぜひよろしくをお願いします。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(上田スポーツ体育課長)

ありがとうございました。

(長田教育長)

そうしたら、次に報告事項2、市会文教子ども委員会の報告についてです。

こちらは、先般7月3日に行われた市会文教子ども委員会の質疑内容の報告です。

御質問等ございましたらお願いします。

報告事項2 市会文教子ども委員会の報告について

(長田教育長)

大阪の地震のあとでしたので、結構コンクリートブロックの関係の安全点検とか、今後の対応についての質問が結構ありました。

(今井委員)

かなり何度も何度も御説明されていましたが、物すごくわかりにくい話になっていましたね。

(長田教育長)

今回、大阪の高槻でああいう学校で気の毒なことが起きて、私どものほうもこういうことが起こるまで、我々事務職は余り知識がない事案でした。専門の技術職は当然知識があったわけですが、質問する議員側とも少し行き違いみたいな格好になっていて、質疑についてはちょっと時間がかかっているということはあったかと思えます。

(今井委員)

置き勉の話も出ていて、教科書等の荷物が重過ぎるということでしたが、小学校は原則置いて帰らないことになっているのですか。

(川田教育次長)

はい、そうです。これを受けて、学校教育課のほうで、学校現場のほうに御意見をいただいたりしながら、検討しています。

(今井委員)

ぜひ、お願いします。

(長田教育長)

御意見があったらお願いします。

(今井委員)

やはり荷物が重そうなんです。娘たちの登校に付き添って学校まで行っているのですが、毎日ひいひい言いながら通っています。低学年の子とかは、水筒を持って、プールの荷物を持って、図書室で借りた本の持ち帰りがあると、本当に何か修行みたいな感じなので、ぜひこれも本当に早急をお願いしたいと思います。

(川田教育次長)

わかりました。

(長田教育長)

サイズも大きくなっていたりして、重量そのものも増えて、特に1年生、2年生は体力もなくてしんどいですね。そのところは学校教育課のほうで議論をお願いします。

(大谷学校教育部長)

校長会など、現場と意見交換もするようにしています。実際に前回の改定の際に20%ぐらいページ数がふえています。前回の教科書採択の際には、重さの比較表もつくっていましたが、ふえているという認識はありましたので、その対策は立てていかないとだめだということをお願いをしていくという形になります。

(梶木委員)

ランドセルというのも随分重いように思いますけれども、あれは軽くなっていないので

すか。

(大谷学校教育部長)

ランドセルは指定品ではないです。

(梶木委員)

指定品ではないですよ。

(大谷学校教育部長)

指定品ではなく、何でもいいのですけれども。

(梶木委員)

大きくなっていますよね。

(大谷学校教育部長)

A4が入るように大きくなっています。ただ、最近は軽い工夫もされています。

(川田教育次長)

軽くなっていると思います。

(大谷学校教育部長)

あとは、家族が多いところは、おじい様とかおばあ様が入学のお祝いで高くて重いのを買ってあげるといった話を聞きます。

(梶木委員)

教科書も重くなっているのしょうけれども、ランドセルのブームのような話をすごく聞きます。ただ、そこは別に学校側から何も言う部分ではないということですね。

(川田教育次長)

ないですね。はい。

(梶木委員)

ナイロンのリュックだったら軽いと思うのですけれども、やっぱりランドセルなんですよ。ランリュックという地域もありますよね。

(川田教育次長)

ありますね。

(梶木委員)

あれは指定なのですかね。

(川田教育次長)

指定は一切していませんけれども。

(長田教育長)

置き勉については新聞報道でも時々出て、割と今は世間的にいろいろ注目ではないですけども、関心がある分野だと思います。ぜひ現場の意見を聞きながら、保護者の方々の御意見もお聞きをしながら、いい方向になるようにぜひ検討をお願いします。

(大谷学校教育部長)

はい。わかりました。

(長田教育長)

ほかございませんか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

それでは次は、報告事項5、副駅名の命名権の取得について、それと合わせて主要行事の報告と予定ということで、この2点について、御質問等ございましたらお願いします。

報告事項5 ネーミングライツ（副駅名の命名権）の取得について

その他報告 主要行事の報告と予定

(長田教育長)

まず、このネーミングライツ（副駅名の命名権）の取得は、六甲ライナーのアイランド北口駅に、小磯記念美術館前ということで、副駅名の命名権を取得をしたという報告です。

(今井委員)

この費用対効果はどんな感じですか。

(長田教育長)

これ幾らでしたか。

(浜本総務部長)

年間150万円だったと思います。

(今井委員)

どのようにそれを効果として回収できるかというのはいかがですか。

(浜本総務部長)

小磯記念美術館でおりようとして、おりる駅がわからなくて次の駅まで行ってしまうという方がたくさんおられると聞いていて、副駅名をつけることによって、小磯記念美術館でおりることを気づいていただくように副駅名をお願いしたと聞いています。

ですから、行き過ぎて小磯記念美術館がどこかとうろろする方をできるだけ避けるように、そういう目的で今回応募したということを知っています。

(今井委員)

それであれば、何かもうちょっと違うやり方でもよかったのではないかと、違う広告の方法もあったのではないかなという気もして、新しい利用者の方を呼び込めるような方策ではないのですか。

(長田教育長)

もちろんそれもあるのでしょう。当然、副駅名のところにそれをずっと入れてもらえるわけですから、いわゆる広報の発信としての効果もあるのではないですか。

(浜本総務部長)

もちろんそれも考えています。

(長田教育長)

駅でおりるのがわからないから案内するためだけといたら、今井先生がおっしゃったように、150万円かけなくても別の方法でもうちょっと安くできますよね。

確かに小磯記念美術館は、博物館ほどやっぱり十分な情報発信ができていないという面があるのだと思います。いい作品をたくさん寄贈していただいてやっていますけれども。場所的なことも含めて一度1年間やってみて、恐らくこの150万円が本当に費用対効果の面でどうなのかという、そこはしっかりと検証をしてほしいなという気はします。

(浜本総務部長)

はい。伝えておきます。

(長田教育長)

よろしいですか。

あと、主要行事の報告と予定はいかがでしょうか。15日に近畿地区高等学校PTA連合会、17日に教育振興基本計画点検評価委員会、18日にスクールミーティングで井吹西小学校に行くという予定です。

次回の教育委員会会議は7月23日月曜日という予定です。

(伊東委員)

今回の豪雨の関係で、学校が休みになった分、どこかにずれ込むということはあるか。

(大谷学校教育部長)

基本的には時数の中で余裕をもってカリキュラムを組んでいますので、その中でどうしてもだめな場合というので、今は夏休み期間に授業日を設けて授業時数を確保しようという動きにはなっています。

(長田教育長)

2日間ですよ。豪雨災害の関係は委員の先生方にはもちろん情報は提供いただいていますね。その関係でも何か御質問、御意見ございませんか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

そのほか、教育委員会会議で取り上げるべきこと、御意見等ございませんでしょうか。

また後日でも結構です。何かございましたら事務局のほうまでお伝えいただきたいと思います。

それではここで公開案件については全て終了しましたので、申し訳ありませんが傍聴者並びに報道の方々については御退席をお願いします。

閉会：午後6時21分